長崎県公立高校入試徹底分析【英語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	100点
問題構成	大問４題。リスニング、対話文読解、英作文、長文読解は例年通り。 リスニングはすべて記号問題。問１のみ放送が１回、問２・問３は２回ずつ放送される。問１が４点、問２が９点、問３が10点で計23点。対話文読解は、学校給食についてのアンケートが話題。部分英作文含む設問６問構成で配点は24点。英作文は、市立図書館に関する会話がメイン。部分英作文２問、自由英作文１問の計３問で、配点は16点。長文読解は、主人公が留学を通じて海外の文化への理解を深める内容で、設問は７問構成、配点は37点であった。 記述式の問題はすべて論述問題となっており、配点の65％は記号問題であった。		

	令和６年度 (2024)	令和５年度 (2023)	令和４年度 (2022)	令和３年度 (2021)	令和２年度 (2020)	平成31年度 (2019)
問題量（A４で）	８ページ分	８ページ分	８ページ分	８ページ分	８ページ分	８ページ分
小問数	32問	27問	34問	31問	31問	34問
論述問題の数	６問	７問	８問	８問	10問	11問
論述問題配点	35点	34点	33点	35点	40点	38点
受験者平均点	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表

【出題の傾向と対策】

大問１　リスニング問題

問１の絵や図を見て答える問題では、放送は１回のみ。問２～３は２回放送される。

2022年度よりすべて記号問題になっている。聞き取りによる内容把握がいかに正確にできているかを測ることに特化した問題構成。問１では事前に図表の内容を把握し、問２では選択肢をよく読み込み、問３では事前に問題を読む時間をもらえるので質問と資料の内容を素早く確認すると良い。

※ただし、Ｒ７年度より形式が変わる可能性が高いため、記述の練習も万全にしておくことが大切。

大問２　対話文読解

例年は資料の読み取り・英作文・語形変化など、知識を問う問題から思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題される。図・表と文章の結果をリンクさせて考えることが大切。2024年度の記述形式の問題は英作文のみであった。年度によって出題内容のマイナーチェンジが多い大問ではあるが、共通しているのは自然な会話の流れの読み取りと比較表現を正しく理解しているか確認する問題が必ず出題される点。順序に関わる問題も多いので、first・second・thirdなどの【序数】も覚えておくと良い。

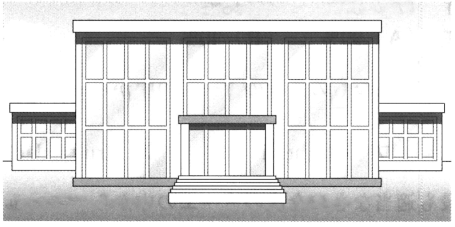
大問３　英作文

部分英作文２問と条件付き自由英作文１問が出題される。部分英作文は前後の会話の流れやイラストから適切な内容を推測し記述する。条件付き英作文は語数指定があるため注意が必要だが、テーマは頻出の内容であるため、各県の過去問で練習することが有効。入試までに、自分なりの　「減点されない」英作文のパターンを身に着けておこう。

Kaoru: Yes. If you go there on that day, [B]. It has the library logo.
John: Oh, that's good. I think many people in the city are happy to have such a big library.
Kaoru: That's right. We have wanted it for a long time. It gives us a chance to read a lot of books. I want to have more good places for people in our city.
John: <u>What do you want to have, for example?</u>

〈市立図書館の案内〉

新市立図書館、4/20（土）オープン！



約65万冊の本を取りそろえています。
２階には広い学習室を完備！

当日はバイオリンコンサートを開催！
開演：午前10時　場所：多目的ホール

当日の来館者はバッグがもらえます！
（当館のロゴマークつき）

市民の皆さまのお越しをお待ちしています！

R6.大問3問1
ポスター内の「当日の来館者はバッグがもらえます！」とあるのでポスター内の情報をしっかり読み取り作文をする。

注　How about ～ ing？　～しませんか。　　logo　ロゴマーク　　chance　チャンス，機会

問１　会話の流れに合うように，[A]，[B] ともにそれぞれ５語以上の英語を書け。

大問４　長文読解問題

例年、中学生または高校生が主人公の物語文である。毎年、日本語の論述問題が数問出題される。内容正誤問題など、設問の該当箇所周辺だけ読んで解くといった方法では対応できない問題が数問出題されており、単語数の多い本文全体に目を通す必要がある。そのため、普段の演習時も時間を意識し、できるだけ速く本文を読む練習をしておくとよい。

問７　次は，亜希が日本に帰った後，ブラウン先生 (Mr. Brown) と行った会話の一部である。
文中の (　①　) ～ (　③　) に入る英語として最も適当なものを，それぞれア～エから一つずつ選んで，その記号を書け。

Mr. Brown: How was your homestay?
Aki: It was great. I enjoyed (　①　) people in the U.K.
I also learned an important thing.
Mr. Brown: What is that?
Aki: One day, I did something British people didn't like. That happened because I (　②　) one of the manners in the U.K. Then, I realized you were (　③　). It is important to learn about the culture of the country before we go there.

R6.大問4問7
本文の要約文への穴埋め問題。
空所の前後内容を読み取り、本文と一致させていく。消去法が解きやすい。

(①) ア	traveling with	イ	looking for	ウ	communicating with	エ	cooking for
(②) ア	knew	イ	didn't know	ウ	forgot	エ	didn't forge
(③) ア	right	イ	nervous	ウ	angry	エ	different